

**地域公共交通確保維持改善事業費補助金
(自動運転社会実装推進事業) 間接補助事業者 提案書 (運行なし)**

【記入にあたっての留意点】

- **本様式は、本補助事業で自動運転車両の運行を伴わない事業を実施する場合にご記入ください。**
- 様式 2 は、本様式に沿って作成してください。別の形式での作成 (PowerPoint での作成や、本様式の設定項目に従わないもの) は認められません。
- 各項目の※書き及び表中の記載例は削除したうえで提出してください。
- フォントは原則 MS ゴシック、11 ポイント以上としますが、図表中の文字等についてはこれに限られません。
- 文字数の制限等は設けておりませんが、各項目の※書きに従い要点を簡潔に記載してください。
- 各項目は、必要に応じて記入枠の大きさの調整や行の追加を行ってください。
- データ等を引用する場合は、出典を明記してください

1. 事業実施の背景・最終目標	
1-1. 事業実施の 背景・目的	※本事業を通じて、解決を目指す地域課題並びにその課題を設定した背景・目的について簡潔に記載してください。
1-2. 最終目標・ 構想イメージ	※本事業にて想定する成果も踏まえて、最終的に達成を目指す目標、構想のイメージについて記載してください。

<p>1-3. 地域公共交通計画等</p>	<p>■ 地域公共交通計画</p> <p>※地域公共交通計画において自動運転の活用を定めている場合、計画における該当箇所を抜粋し、活用方針を記載してください。 (計画の URL を添付し、該当章・ページを記載する形でも構いません)</p> <p>※地域公共交通計画にて自動運転の活用を定める予定がある場合、現時点で記載予定の内容について記載してください。</p> <p>■ その他計画</p> <p>※その他自治体が定める各種計画において自動運転を位置付けている場合、参考資料を提示してください。</p>
<p>1-4. 施策間連携</p>	<p>■ デジ活中山間地域（農林水産省）</p> <p>※中山間地域等を含む地域であり、農林水産分野と連携し、自動運転技術を活用して地域を活性化させていく取り組みを推進予定の場合は、取り組み内容について記載してください。（本事業の公募に合わせて「デジ活」中山間地域に係るチェックシートを提出予定の事業者のみ記載してください。）</p> <p>※既に「デジ活」中山間地域に登録されている場合は、登録時に合わせて申請を行った事業名と共に、その取り組み内容を記載してください。</p> <p>■ 上記以外の DX・GX の取組で本事業との関連が認められる施策</p> <p>※また、本事業と関連する DX・GX の取組の実施予定について記載してください。</p>

2. 事業内容

■ 2-1-1. 実施内容

※本補助事業における実施内容について、簡潔に記載してください。

※なお、自動運転車両の運行を伴わない事業を実施する場合には、次年度以降の運行を見据えたリスクアセスメント・3D マップ作成等の実施が推奨されます。

■ 2-1-2. 対象ルート

※リスクアセスメント・3D マップ作成等を実施予定の場合は、その対象ルートの選定理由(利用者からのニーズ等)についても触れながら、地図等を活用して記載してください。

2-1.
実施内容

■ 2-2-1. 事業性

※次年度以降の自動運転事業における収入・事業費確保の考え方について、下表に記載してください。

※なお、収入・事業費確保の検討にあたり、自動運転事業で想定される費目・定義は以下の通りとなります。必要に応じてご参照ください。

- 【運賃収入】
 - 運賃収入のうち、個人向け旅客運送によって得られる収入
- 【法人利用料】
 - 運賃収入のうち、法人向け旅客運送によって得られる収入
- 【協賛金】
 - ルート沿線企業から協賛金・スポンサー料として得られる収入
- 【貨客混載】
 - 旅客運送と同一の車両を活用した、貨物運送によって得られる収入
- 【視察収入】
 - 外部団体等による、自動運転車両の視察によって得られる収入
- 【広告収入】
 - 車両やアプリ等に掲載する広告より得る収入
- 【補助金】
 - 国からの各種補助金（備考欄に補助金の名称をご記載ください）
- 【自治体予算】
 - 本事業に対して自治体が確保する予算（ふるさと納税等を含む）

2-2.
経営面に
おける特徴

項目	内容
収入・事業費の確保	

■ 2-2-2. 移動以外の効果

※経済的波及効果や交通以外の分野における公的負担額の軽減等による持続可能性の向上を視野に入れている場合は、検討内容（定量化の方法等）を記載してください。

■ 2-2-3. 波及性

※他の地域においても参考となる、波及性のある実施内容となり得る場合、その特徴を記載してください。

※レベル4の実現・安全性の向上に向けて、実施体制において工夫している点があれば記載してください。また、次年度以降に導入予定の車両がある場合は、あわせて以下の表も記載してください。(未検討の場合は表を削除いただいて構いません)

#	車両名	自動運転システム ベンダー※	保有形態
1			新規購入/リース
			新規購入/リース

2-3.
技術面における特徴

※地域住民や交通参加者等を対象に、事業の認知拡大や、走行特性・安全性等の理解促進の計画がある場合は、その施策について記載してください。

※地域住民や交通参加者等を対象に、走行環境の構築・維持に向けた合意形成を図る計画がある場合は、その施策について記載してください。

2-4.
社会受容性面における特徴

※本事業における検証項目(実施方法)・目標値・目標の設定根拠について記載してください。(目標値は可能な限り定量的に記載してください)

検証テーマ	検証項目 ※実施方法	目標値	目標の設定根拠
経営面	・(自由記入) ※実施方法:	・(自由記入)	・(自由記入)
	・	・	・
技術面	・(自由記入) ※実施方法:	・(自由記入)	・(自由記入)
	・	・	・
社会受容性面	・(自由記入) ※実施方法:	・(自由記入)	・(自由記入)
		・	・

2-5.
検証項目

3. 実施体制

3-1. 実施体制図

※本事業の実施体制図を下記の図を参考に作成してください。
 ※また、調整中の参加団体・外注先・協力団体がある場合は、その旨が分かるように参画状況の列に「未確定」と記載してください。
 ※(様式第1)応募申請書にてコンソーシアム組成を「無」と回答している場合、参加団体の枠と、補助事業者の枠を削除の上、作成してください。



3-2. 参画団体・役割

※本事業に参画する各団体・組織の役割を簡潔に記載してください。

No.	分類	参画状況	団体名	役割
—	代表団体	確定	●●●	事業全体の企画、進捗管理、成果測定等
①	参加団体	確定	株式会社■	高精度 3DMap の製作支援
②	業務委託・外注先	確定	株式会社△△	自動運転車両の改造
③	業務委託・外注先	確定	〇〇株式会社	自動運転車両の運行
④	協力団体	未確定	〇〇市	実証実験場所の提供

※参画が未確定の団体が存在する場合、事業実施期間中に体制を整備するうえでの計画を記載してください。

3-3. 事業実績

※代表団体(地方公共団体)が自動運転に係る事業実績を有する場合は、事業名、事業概要、実施年度等を簡潔に記載してください。

4. 実施スケジュール

※事業実施期間における体制構築～成果報告までのスケジュールについて、以下の図を参考に作成してください。

※あわせて、スケジュール策定に係るポイントについて記載してください

■ 実施スケジュール

以下の図を参考にスケジュールを記載してください。

大項目	小項目	24年 6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	25年 1月	2月
1. 体制構築	・参加事業者連絡 /キックオフ	→								
	・									
2. 事業準備	・実施計画の設計 等		→							
	・対象ルートの策 定等			→						
	・									
3. 事業実施	・リスクアッセ メント実施/検証							→		
	・									
4. 結果取り纏め	・検証結果の取り 纏め								→	
	・									
5. 成果報告	・報告書作成/報 告会準備									→
	・									

5. 事業の発展性

※今後の自動運転事業におけるロードマップとして以下の表を作成し、今後の事業計画について簡潔に記載してください。
 ※複数の事業モデルの展開を予定している場合は、事業モデル毎にロードマップを作成してください。
 ※以下の表を記載したうえで、事業者独自のロードマップを作成している場合は本項目にて引用してください。

■ ロードマップ

項目	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度
運行台数				
運行エリア				
運行方式				
レベル 4 運行* ¹	○/ー	○/ー	○/ー	○/ー
運賃	有償・無償	有償・無償	有償・無償	有償・無償
運転手	有/無	有/無	有/無	有/無
保安員	有/無	有/無	有/無	有/無
遠隔監視員	有/無	有/無	有/無	有/無
遠隔監視体制* ²	N:N	N:N	N:N	N:N

*¹：特定自動運行による運行(一部区間も可)の有無をもって回答してください。
 *²：1 拠点における遠隔監視員の人数：監視対象の車両台数の比率を記載してください。(複数地域・事業で1 拠点を活用するケースも可)

5-1.
ロードマップ
・体制

5-2.
実装時の
運行場所
(運行ルート)

※実装時の運行場所を検討している場合は、当該ルートの選定理由(利用者からのニーズ等)についても触れながら、地図等を活用して記載してください。
 ※運行区間ごとの実際の自動運転レベルについても地図内に記載してください。具体的には、「手動操作」「手動操作の想定無し」「原則、自動運転(必要に応じて手動操作)」等を運行ルート上に記載してください。

5-3.
情報公開
可否について

※公募要領の(7)調査への協力(Ⅳ.応募手続>>6.応募にあたっての留意事項)に記載の通り、本様式に記載いただいた内容は事業者間の連携の推進、政策効果検証等に使用することを目的として、個社情報が特定されないように処理した上で公開する場合があります。

※本様式の記載内容のうち、公開不可の内容がある場合は、下表にて該当項目及び公開不可の事由について記載してください。

#	公開不可項目	事由
1	(例) 5-1. ロードマップ・体制	(例) 現時点で未確定の計画であり、今後も変更が生じる可能性があるため
2		

以上